

生管理（前）：清さは信仰の半分である

5.0

明:イスラ ムにおける 生管理の重要性について。

目:[事崇 行 とその 践スラ ム的モラルと](#)

より: ア イシャ ステイシ

日8 Oct 2013

集日 28 Oct 2013

世界中のムスリムは、 めて高い水 の 生管理に通じていますが、それはイスラ ムが肉体的 精神的な清 性に重きをおく宗教であるからです。人は一般的に、清 であることを肯定的に捉えますが、イスラ ムはそれに してこだわりを せます。ムスリムは 生的 点から、身なりを整え、身体、衣服、そして自身の周 が清 であることが求められています。言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は、教友たち、そして私たち全 に、清 さの重要性についてこのように述べています。“清 さは信仰の半分である。” [1](#)
またクルア ンは、より具体的にこう述べます。

“??”????????2?222?

生管理は常に行うことが好ましいですが、その一部は重要であるだけでなく、 付けられます。学者たちによれば、清 性は3つに分けられます。つまり、礼 を行うために身体を清める 礼の 化、次に身体 衣服 周 を清 に保つこと、そして 鼻腔 爪 部周 など、身体の一部に蓄 する 物を取り除くこととされます。

化の 礼

清 をアラビア でタハ ラといい、それは精神的 肉体的に不 のない状 を意味します。清 性は、礼 に欠かすことの出来ない要素の1つです。精神的タハ ラとは、罪 偶像崇 を犯さない状 であり、かつ神の唯一性を信じている状 を指します。それは身体的清 性と同 、重

[illegible]

ウドゥ による 礼の 化には、手洗い、口と鼻腔のゆすぎ、洗 、肘を含む 腕の洗 、 部を拭うこと、耳の を含む 耳の洗 、そしてくるぶしを含む 足の洗 が含まれます。この手 は、以下の 目によってウドゥ が となるまでは、各礼 ごとに り返される必要はありません。それらは主に、排尿、排便、放屁、深い睡眠、 、性的 による体液（カウパ 腺液）の分泌などです。

言者ムハンマドはまた、 境に しい方法でウドゥ を行うようにも いています。当 、水は希少で、ウドゥ を正しく行うために彼は出来るだけ少量の水を使用するよう推 したのです。一方、特定の状 では沐浴（グスル）が 付けられ、水が身体の隅々まで 遍なく行き届くことが必要とされます。

礼の洗 は特定の条件下のみにおいて、水なしでも施行されます。これはタヤンムム（乾式の 化）と呼ばれるものです。必要量の水を 保出来ないとき、または、例えば怪我人や重病人にとって水の使用が危 となる 合、きれいな地表で代用することが出来ます。タヤンムムは、 れのない地表に手を触れた 、手の甲を拭い、次に埃を吹き ばした に、全体を拭います。この行 は、ウドゥ またはグスルの代用として行われます。

神は、かれを崇 する人物が 礼的に清 であることをお望みですが、かれは慈悲深き御方であり、特定の例外をお めにもなるのです。かれはクルア ンの2: 286において、 に しても、その能力以上のものを わせたりはしない、と述べています。それゆえタヤンムムとは、靴下 スカ フ タ バンの上を拭うことが されているのと同 の、特例措置なのです。

イスラ ムは、肉体的 感情的 精神的にバランスの取れた健康に しての人 の必要性を考 ずる、包括的な教えです。肉体的 精神的な 生管理と清 さは、心と身体の病 を予防します。清 さとは、イスラ ムに内在する高度な水 と において、重要な部分を占めているのです。

Footnotes:

1	サヒ フ ムスリム
2	サヒ フ ブハ リ

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2149>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006-2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。